



小樽市立塩谷小学校 学校だより 第9号  
 令和4年11月28日発行 TEL26-1103  
 E-mail [sioya-ps@otaru.ed.jp](mailto:sioya-ps@otaru.ed.jp)



【教育目標】

- ☆すなおでやさしい子ども
- ☆よく考える子ども
- ☆進んで働く子ども
- ☆みんなで協力する子ども
- ☆明るく健康な子ども

## やるかやらないか、あなたはどっち？

小樽市立塩谷小学校長 加藤 俊 明

みなさんは「やる」か「やらない」かの選択を迫られたとき、どうしますか？私はその状況によって異なりますが、やる方を選択することが多いです。なぜなら、やらないという選択は、まったく変化がないことであり、やるという選択は失敗するかもしれませんが、もしかしたら何かを得るかもしれないからです。よく、やらないことは現状維持だと言いますが、本当にそうだろうか？このことについては、歴史上の偉人や著名人の本にこう書いていました。



【日本の実業家 松下幸之助氏】

“人間は変わることには恐れを持ち、変えることに不安を持つ。しかし、全てのものが刻々と動き、一瞬一瞬にその姿を変えつつあるこの世の中。「うまくいっているから十分だ。」と考えて現状に安んずることは、即、退歩につながる。今日より明日、明日よりあさってと、日に新たな改善を心がけたい。”

【ディズニーランドの創設者ウォルト・ディズニー氏】

“ディズニーランドはいつまでも未完成である。現状維持では後退するばかりである。”



お二人はなぜ、やらないことは現状維持ではなく、後退していると考えたのか。それは、自分は現状維持のつもりでも、まわりは動いているのだから、いつのまにか少しずつ後退していくのだと考えているからなのです。ディズニーランドがどんどん新しいアトラクションができて、常に進化している理由がよくわかりました。

そういえば、私が中学生の時、2年生になったら急に成績が下がったことがありました。私はまったく勉強しなかったわけではなく、1年生の時と同じペースで勉強していました。（つまり現状維持）しかし、まわりの方は2年生になると私よりももっと勉強していたのでした。私は現状維持のつもりでも、実は後退していたのでした。そのことに気づき、このままではいけないと思い、3年生になってからは勉強のペースを上げたことを覚えています。

やみ雲に何でもやってみようというわけではありません。「これはやらない」と断言できることはやる必要はありません。でも、迷ったときは「やってみる」という選択はよいかもしれませんね。やらないで後悔するより、やってみて失敗した方が一歩前進ではないかと思っています。

塩谷小学校の児童のみなさんには、学校だよりの第1号にも書いたとおり、何事にもチャレンジして、可能性の扉を開いてほしいと願っています。

